

平成21年度教育委員会事務点検評価(平成20年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	19
事務事業の名称	非常勤講師配置事業	担当部課	教育委員会 学校教育部 教育指導課
		電話番号	04-2953-1111 内線5652
実施期間	平成13年度 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H20~22) 事業名	非常勤講師配置事業
	2節 次世代教育の充実		
	1項 教育内容の充実	個別計画等の名称	
	1目 特色ある学校づくりの推進		
実施根拠			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	社会の様々な変化により、学校教育も多くの課題がある。創造性に富み、心豊かな生き力を持った児童生徒の育成のためには、より一層の教育内容の充実が必要である。		

2 事務事業の目的・内容

目的	非常勤講師の配置により教育内容を充実し、きめ細やかな教育を推進することにより、創造性に富み、心豊かな生き力を持った児童生徒の育成を図る。
対象	全小中学校
活動内容	次代を担う子ども達を、創造性に富み、たくましく心豊かに育てるため、また、自ら学び自ら考える能力などの向上を通じて、社会を生きる力を育むため、わくわく非常勤講師、アシスタントティーチャー等の活用により、教育内容の充実を図っている。各小中学校にわくわく非常勤講師を1名ずつ、各中学校にアシスタントティーチャーを1名ずつ配置した。これにより、教育内容のさらなる充実が図れた。
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価) 継続
環境配慮	環境教育を推進するとともに、身近な環境保全を实践する。
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	目標値の根拠・考え方
(実施状況指標)	アシスタントティーチャー等の配置人数	目標値	人	34	34	34	34	わくわく非常勤講師:市内全小学校:計17名、アシスタントティーチャー:市内全中学校:計10名
		実績値		26	29	31		
	達成率	76.5%	85.3%	91.2%				
	アシスタントティーチャー等の配置延べ日数	目標値	日	5,460	5,200	6,648	5,704	
実績値		5,895		5,325	6,378			
	達成率	108.0%	102.4%	95.9%		一人あたり、184日を設定		
(成果指標)	目標値							
		実績値						
	達成率							
	達成率							

4 事業費

		区 分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
経費	直接費	予算額	千円	26,000	26,730	30,690	28,520
		決算額	千円	26,880	26,625	29,850	
	財源内訳	国県支出金	千円				
		その他特定財源	千円				
		一般財源	千円	26,880	26,625	29,850	
	人件費	従事職員数	人	0.50	0.32	0.25	
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	4,485	2,868	2,294	
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	31,365	29,493	32,144		
効率性指標	指標名	アシスタントティーチャー等配置日数	日	5,895	5,325	6,378	1単位当たりの経費
	単位コスト	一日あたり	円	5,321	5,539	5,384	

5 事務事業の評価

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4	担任教諭と非常勤講師で連携指導することにより、学習指導面で大きな効果がある。担任教諭だけでは行き届かない面を非常勤講師が補助することにより、よりきめ細やかな指導が可能となる。生徒指導においても、複数の目で児童生徒を見ることができ、効果的である。
		4	
	有効性	4	わくわく非常勤講師、アシスタントティーチャーの派遣による授業の指導は、教育内容の充実を図るうえで、有効であった。各学校で、基礎基本的事項の定着、授業規律の徹底など、成果を上げた。その他、学習活動を効果的に行うことにたいへん効果があった。
効率性	4	年間で決められた日数での日給制の勤務であり、学校が必要とする日に勤務するため、コスト的に効率性が高い。通勤手当が支給されないため、遠方からの勤務が難しい。優秀な人材の確保という点から改善が必要である。	
		<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い	
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了		
平成21年度は、人員の加減はないが、わくわく非常勤講師、アシスタントティーチャーの活用をさらに工夫し、教育内容の充実を図っていく。			

6 その他(学識経験者の意見等)

・この分野では、近隣大学の教職課程履修学生によるボランティアの活用を考える手もある。学生にとっては、ある種の実習になり、決して無理なプランではない。 ・今後の方向性にあるとおりと考える。
--